

オオタバコガの発生に注意してください！

フェロモントラップへの誘殺数が多く推移しています。
圃場をよく観察し、若齢幼虫のうちに防除を徹底してください。

[現在の状況]

- ① 4月第1半旬～5月第4半旬までのフェロモントラップへの雄成虫の誘殺数は、水戸市、土浦市、龍ヶ崎市および筑西市のいずれの地点も平年より多く、また多発年の誘殺数を上回っている（図1）。
- ② 雄成虫の誘殺数は、例年、8月上旬から増加する傾向にあるため、幼虫による農作物への被害の増加が懸念される（図2）。

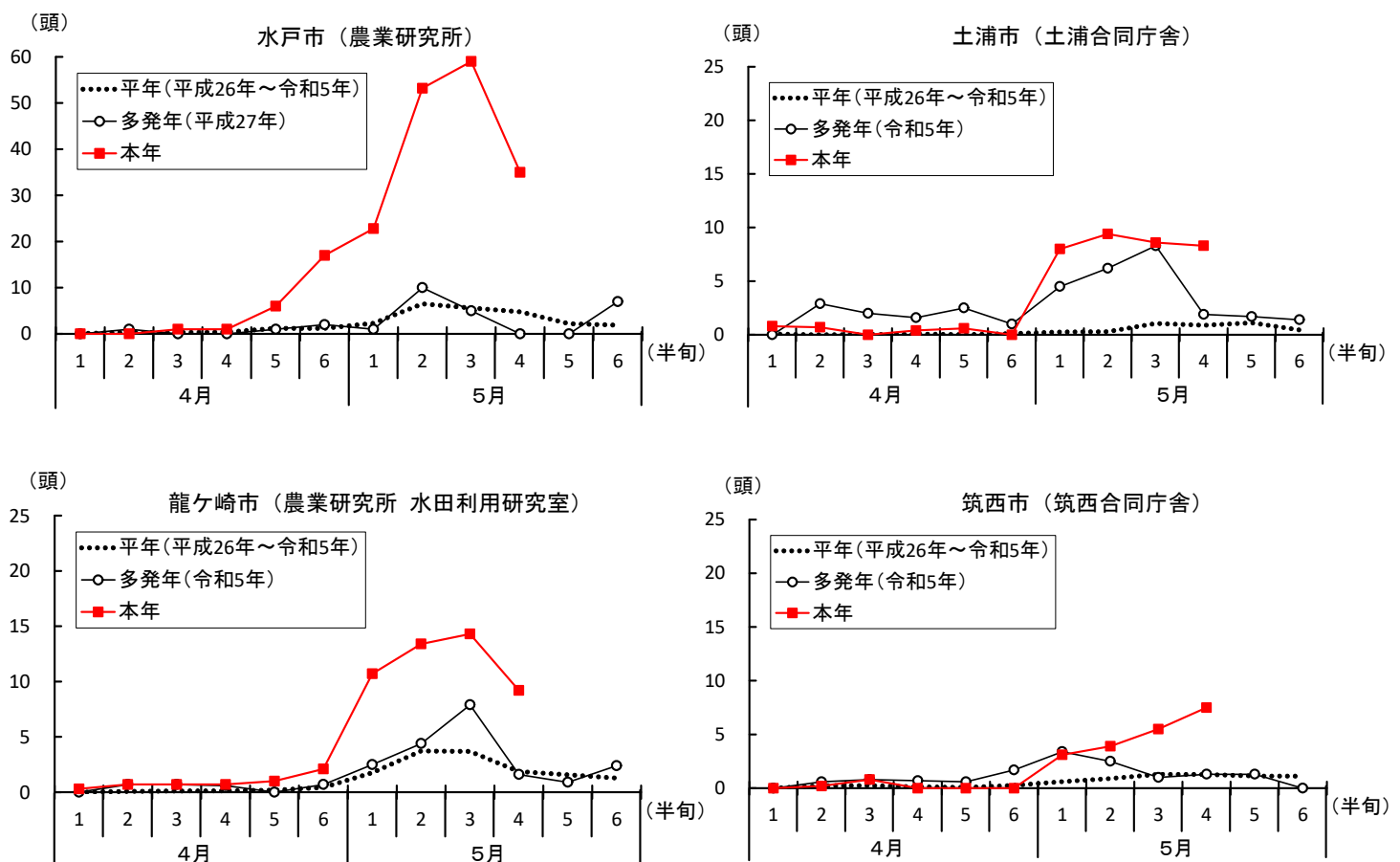


図1 フェロモントラップによるオオタバコガ雄成虫の誘殺状況

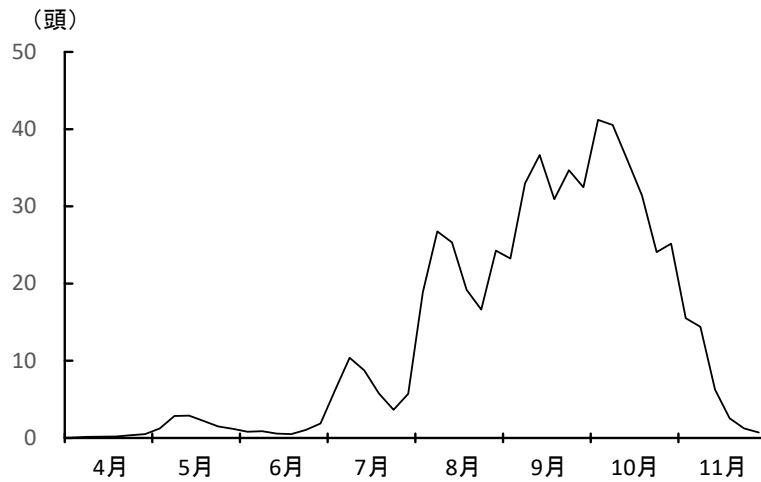


図2 オオタバコガの発消長

※4地点（水戸市、土浦市、龍ヶ崎市、筑西市）の平年値を平均した値の推移

[防除対策]

- ① オオタバコガの幼虫（写真1）は広食性であり、野菜類、花き類、大豆等を加害するので圃場をよく観察する。
- ② 施設栽培では、ハウスの開口部に防虫ネットを設置して成虫（写真2）の侵入防止に努める。
- ③ オオタバコガの幼虫は植物体内に潜る性質が強く、花蕾や果実内に食入（写真3）すると薬剤が効きにくくなる。また、中齢幼虫以降になると虫体が大きくなり薬剤が効きにくくなるため、圃場をよく観察し、若齢幼虫のうちに防除を行う。
- ④ 薬剤散布は、薬液が葉裏や株元にもよくかかるよう十分な量で丁寧に行う。また、複数回散布する場合は、薬剤抵抗性の発達を抑えるため、IRACコードの異なる薬剤をローテーション散布する。



写真1 オオタバコガ老齢幼虫（体色は淡緑～褐色と個体差が大きい）



写真2 オオタバコガ成虫

写真3 ナス果実に食入するオオタバコガ幼虫